

## 第5回「医療・介護連携 顔の見える関係づくり交流会」を開催しました！

第5回「医療・介護連携 顔の見える関係づくり交流会」を、平成29年10月19日(木)に総合市民会館 大会議室にて開催しました。甲府市中央地域包括支援センターの支援エリアに所在する医療機関、介護保険サービス提供事業所等を中心に、120名の方にご参加いただきました。



コーディネーター  
伊藤 健次 先生

山梨県立大学の伊藤健次先生に交流会のコーディネートを務めていただき、交流会を進めました。

コーディネーターからは、「事例を通して、それぞれが感じていることや考えをきちんと相手に伝えるきっかけの場になると良いと思います。」と参加者に向けた挨拶のあと、座談会を開始しました。

座談会では、「認知症の症状が進んでいる高齢者の退院に向けての支援」の事例をもとに、それぞれの職種の意見を聞き、多職種の連携について真剣に考えました。時間が経つにつれ、参加者の表情や姿勢がほぐれ、様々な意見が出ていました。

座談会終了後、各グループで行われた意見交換の内容について発表いただきました。



発表者からは、「まずは本人の意向や想いをくみ取り関係者を巻き込んで支援していくことが大切」という

意見や「本人の判断能力が不十分なので今後住み慣れた地域で暮らしていくためには成年後見制度につなげ金銭管理の支援が必要なのではないか」という意見など様々な意見がありました。



最後にコーディネーターより、「今回の交流会を通して様々な職種と面識を作っていたいただき、今後は職場や地域の中でも深めていくことが大切」と締めくくっていただきました。

# 交流会の様子を掲載します！

